

# 授業公開シート

授業者 書き込み欄	
授業者	伊藤 誠
授業場所	3年 A組
公開日	2018 年 10 月 26 日 金曜日 5 限
教科・学年	数学 ・ 第3学年
授業内容の簡単な説明	タイトル：『平行線と線分の比』（全5時間：本時は第1時）
<p>生徒が協力し、提示されたキーワードを用いて課題を解決することで、主体的に学習する授業を目指す。本時は5章『図形と相似』の2節「平行線と線分の比」についての学習である。予習した内容をもとに、三角形の1辺に平行な直線で他の2辺を切り取るときの線分の比に関する性質を見つけ、それを論理的に証明するという課題を設定した。生徒たちは班で協力しながら問題解決に向かう。</p>	
ねらい	<p>※どのような見方・考え方を働かせて、資質・能力を高めたいと考えていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平行線と線分の比についての性質を、平行線の性質や相似条件を用いて論理的に証明する力を高める。</li> <li>・教科書から必要な情報を読み取り、それらを整理し、まとめる力を高める。</li> </ul>
中心となる課題や問い	<p>『AQ,PQの長さは？』</p> <p>『PQ//BCならば、AP:PB=AQ:QC であることを証明しなさい。』</p>
生徒の学習活動	
形態	班
導入	<p>宿題の答え合わせ</p> <p>本時の目標『平行線と線分の比についての性質を見つけ、証明し、まとめる。』</p>
展開	<p>今回のキーワードの確認</p> <p>&gt; 仮定, 結論, 平行線, 同位角, 補助線, 平行四辺形の性質</p> <p>課題①</p> <p>&gt; 『AQ,PQの長さは？』(教科書P127.ひろげよう、について)</p> <p>※△ABCの△APQであることをきちんと説明できた上で計算しているか留意する。</p> <p>発表</p> <p>相互確認 ※自分の解答を班の子に渡して、正しく書けているかをチェックし合う。</p> <p>課題②</p> <p>&gt; 『PQ//BCならば、AP:PB=AQ:QC であることを証明しなさい。』</p> <p>発表</p> <p>相互確認</p>
まとめ	<p>今日わかったこと（平行線と線分の比についての性質）をまとめる。</p> <p>宿題：P127問1、P129問2</p> <p>予習：P131まで</p>
評価の仕方	ノートの内容、授業中の発言

メモ欄

参観者 書き込み欄

参観者

ねらい

※ねらいにせまれていましたか？

折  
り  
線

学びの視点（主体的・対話的・深い学び）

※学びについてはどうでしたか？

授業スキル

良かったところ

改善した方が良いと感じたところ

感想